

## あとがき

当館『研究報告』は、平成八年度に第一号を刊行して以来、おかげさまで今回をもちまして第一号目となりました。これもひとえに皆様方のご協力、ご指導の賜物と感謝しております。

今号では、石田氏より、第九号に引き続き、野田の山岳信仰②として、富士講関連の研究成果を頂戴いたしました。市域の具体的な富士講の実態や動向を知ることができ、たいへん有用です。また、中村氏からは、関宿藩の御定法について、野田地方史懇話会古文書研究会からは、前号に続いて船橋随庵関連の文書について、おまともをいただきました。そして、市川氏からは、中世期の合戦場ともなった「からめきの瀬」の位置について、ご専門の立場から推定された論考をいただきました。河川工学的な視点は、当『研究報告』においては、きわめて新鮮です。一方、松井氏からは、川船の船図と工法と題し、まずは全国主要河川の川船にかかる様式図の玉稿を頂戴しました。これまで不明瞭だった点が次第に明らかにされつつあり、今後の比較研究の成果が期待されます。

以上のように、今号もたいへん貴重な論考を掲載することができました。これからも当館のテーマに関係するさまざまな研究成果を、地道に、少しでも多く、ご紹介していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、当館の客員研究員制度は、任期を二ケ年（平成一八・一九年度）とし、次の方々に委嘱しております。

- ・新井浩文〔地域史〕（埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課主査）
- ・石田年子〔民俗〕（野田市文化財保護審議会委員）
- ・市川幸男〔河川土木〕（国土交通省国土交通大学校建設部建設第一科長）
- ・岩槻秀明〔自然科学〕（野草研究家・気象予報士）
- ・中村正己〔地域史〕（元境町教育委員会町史編さん室参事）
- ・林保〔地域史〕（元関宿町文化財保護審議会委員）
- ・松井哲洋〔和船研究〕（和船研究家）
- ・松丸明弘〔河川交通史〕（財団法人千葉県史料研究財団史料研究員）

---

## 千葉県立関宿城博物館 研究報告

### 第11号

平成19年3月31日発行

編集・発行 千葉県立関宿城博物館  
〒270-0201 千葉県野田市関宿三軒家143-4  
電話 04 (7196) 1400  
FAX 04 (7196) 3737

印刷・製本 成田商事株式会社  
〒305-0005 茨城県つくば市天久保1-17-15-202  
電話 029-869-8755  
FAX 029-869-8756

---